

平成28年度事業実施状況について

I 新しい但馬づくりを担う人材等の育成に関する事業

但馬の多彩な魅力を再認識、再発見することにより、新しい但馬づくりを担う人材・団体等を育成し、それらの積極的な活用を推進するため、次の事業を行った。

1. 但馬ふるさとづくり大学事業

但馬の自然・歴史・文化・人物など多様な分野の学習を通して、但馬の再発見、地域に対する誇りや愛着心の醸成することなどを目的に12講座を実施した。

また、但馬の歴史遺産に学ぶ現地学習を行った。

さらに、夏休みに子供たちを対象とした「ふるさと但馬を学ぶジュニアセミナー」を開催した。

(1) ふるさとづくり大学

- ① 期 間 平成28年5月7日開講・11月5日閉講
- ② 会 場 養父市、朝来市
- ③ 受講者数 109名 ※修了者58名(10講座以上出席者)
- ④ 講座内容 9日間12講座(現地学習含む)

日 時	内 容
5/7(土)	<開講式> ①『地域が支える生物多様性の保全～コウノトリの野性復帰を通して～』 講師 / 江崎 保男 氏(兵庫県立大学大学院 地域資源マネジメント研究科 研究科長・教授)
6/4(土)	②『但馬牛の歴史と改良に取り組んだ先人』 講師 / 渡邊 大直 氏(但馬牛博物館 館長) ③『但馬と北前船』 講師 / 前田 徹 氏(兵庫県立歴史博物館学芸課学芸員・主査)
7/2(土)	<現地学習> ④『ふるさと但馬めぐり～但馬の歴史遺産に学ぶ～』 近代化遺産「神子畑鉱山」を訪ねる
7/23(土)	⑤『川崎尚之助とその周辺』 講師 / 木村 幸比古 氏(霊山歴史館 副館長) ⑥『特別な場所 但馬』 講師 / ウィンダラー アナスタシア 氏 (SOZORO城崎温泉ツーリストインフォメーション)
8/6(土)	<但馬文教府第49回夏期大学ー特別講座ー> 会場：豊岡市民会館 ⑦『我が相撲人生』 講師 / 舞の海 秀平 氏(元小結、大相撲解説者) 『大家族、支え愛、見守り愛、励まし愛』 講師 / 西川 ヘレン 氏(タレント、西川きよし夫人)
9/3(土)	⑧『生野銀山と明治お雇いフランス人』 講師 / 白井 智子 氏(姫路日仏協会会長、兵庫県立大学客員教授)
9/11(日)	⑨ 第11回但馬検定試験

10/1(土)	⑩『過去最大の惨害 北但大震災』 講師 / 中村 英夫 氏 (郷土資料収集家) ⑪『但馬の近代化のあゆみ～都市計画とまちづくり～』 講師 / 松井 敬代 氏 (豊岡市立歴史博物館 但馬国府・国分寺館 副館長)
11/5(土)	第一部：受講生自主研究発表会 ⑫ 第二部： 『土師器 (かわらけ) にみる但馬と京都：土器からはかる都との距離』 講師 / 中井 淳史 氏 (兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科・教授) <閉講式>

(2) ふるさと但馬を学ぶジュニアセミナー

- ① 日 程 平成 28 年 7 月 30 日 (土)
- ② 会 場 山陰海岸ジオパークと海の文化館 (香美町)
- ③ 参加人員 62 名 (小学校 3～6 年対象)
- ④ 講座内容 遊覧船かすみ丸による香住海岸の見学、ジオパークと海の文化館見学、手作りちくわ体験

2. 但馬検定事業

但馬の自然・歴史・文化などを幅広く楽しく学ぶことで、地域の魅力を再発見し、但馬内外へその魅力を発信するとともに、但馬を訪れる人々に対するおもてなしの向上につなげることを目的に実施した。

また、ミニ検定講座や検定事前講習会を開催するなど、検定の PR や裾野の拡大に努めた。

(1) 第 11 回但馬検定

- ① 試験日 平成 28 年 9 月 11 日 (日)
- ② 試験場所 但馬長寿の郷
- ③ 試験結果

() 前回結果

区 分	1 級 (80 点満点)	2 級 (80 点満点)	3 級 (100 点満点)	計
受 験 者 数	35 人 (33 人)	41 人 (35 人)	80 人 (76 人)	156 人 (144 人)
合 格 者 数	18 人 (6 人)	27 人 (12 人)	69 人 (50 人)	114 人 (68 人)
合 格 率	51.4% (18.2%)	65.9% (34.3%)	86.3% (65.8%)	73.1% (47.2%)
平 均 点	69.5 点	64.6 点	83.2 点	
最 高 点	80 点	79 点	99 点	
最年少合格者	27 才	26 才	19 才	
最高齢合格者	74 才	83 才	78 才	
合 格 基 準	70 問以上/80 問中	60 問以上/80 問中	70 問以上/100 問中	

- ④ 特 徴
 - ・ 受験者は昨年より 12 人多い 156 人となり、平成 21 年度の第 4 回以降では最も多い受験者となった。また、県外の受験者は東京都や石川県等から 23 人受験され、14 人合格した。
 - ・ 受験者アンケートでは、「現地に行きたくなった」「もっと但馬を知りたくなった」などの回答が多くあり、約 8 割が「さらに上級を受験したい」と回答した。

(2) 検定PR事業

各種イベント等でのPR及び高校生や団体を対象に検定を模擬的に体験するミニ検定講座の実施を実施するとともに、検定に向けた学習ポイントの解説を行う事前講習会を開催して但馬検定への受験意欲を高めた。

- ① ミニ検定講座
 - 平成28年5月11日 豊岡高校定時制課程において検定模擬試験
 - 平成28年5月31日 みてやま学園大学院基礎講座において検定模擬試験
- ② 事前講習会
 - 平成28年9月1日 じばさんTAJIMA（豊岡市）で実施 51人受講
 - 平成28年9月3日 但馬長寿の郷（養父市）で実施 66人受講

(3) 『ザ・たじま』2016年版の発行

- ① 発行時期 平成28年5月
- ② 発行部数 1,000部

3. 観光ガイド育成支援事業

但馬各地で活躍する観光ガイドの技術の向上や情報交換を図るため、観光ガイドとして必要な知識や技能等を学ぶ研修を実施するとともに意見交換の場を提供した。

- ① 開催日 平成28年11月28日
- ② 会場 但馬長寿の郷
- ③ 参加者 但馬地域で活動する(ボランティア)ガイド 25名(14団体)
- ④ 実施内容 おもてなし研修、外国人観光客へのおもてなし、意見交換

II 交流促進による新しい但馬づくりに関する事業

但馬地域内外との交流促進や地域情報の発信等を通じ、交流・移住人口の増加、地域活性化及び観光振興を図るため、次の事業を行った。

1. 但馬四季彩イベント事業

平成6年の「但馬・理想の都の祭典」の開催趣旨を受け継ぎ、但馬地域内外との交流、地域資源の情報発信及び地域活性化を目的に開催される広域的で大規模なイベントについて、その実行委員会に対して支援を行った。

(1) 但馬“牛まつり”

- ① 開催日・来場者 平成28年9月25日(日) 16,000人
- ② 助成金額 3,249千円
- ③ 開催場所 兵庫県立但馬牧場公園

(2) 但馬・食文化まつり

- ① 開催日・来場者 平成28年10月15日(土)～16日(日) 36,000人
- ② 助成金額 3,249千円
- ③ 開催場所 朝来市和田山中央文化公園

2. たじま田舎暮らし推進事業

「たじま田舎暮らし情報センター」に専門の相談員を配置し、相談業務や情報提供を行うとともに、管内市町等と連携して下記の事業を実施した。

(1) 情報発信

たじま田舎暮らしポータルサイト「たじま暮らし」のスマートフォン対応化や空家物件の検索システムの改善など IJU ターンに関する情報を積極的に発信した。

- ・ ホームページによる情報発信 (H28.12 末現在)

ユニークアクセス PV 数	61,251 件 (60,725 件)	前年同期比 100.9%
ユニークアクセス訪問者数	21,088 件 (21,001 件)	前年同期比 100.4%

(2) 移住相談員の配置

但馬の移住ガイドブックを活用し、田舎暮らしの PR イベント・相談会に参加して、但馬地域の田舎暮らしに関する情報を提供した。

- ・ 首都圏及び京阪神でのイベント及び相談会等
ふるさと回帰フェア大阪 ほかに7回、相談件数 39 件 (H28.12 末現在)

(3) 移住体験バスツアーの実施

移住に関心のある者を対象に、空き家や子育て支援施設の見学、移住体験者との交流、野菜の収穫体験等、移住を促進する体験型バスツアーを実施した。

- ① 実施日 平成 28 年 8 月 20 日 (土) ~21 日 (日)
- ② 場 所 朝来市、養父市
- ③ 参加者 6 家族 17 名 (神戸、尼崎、芦屋、大阪府、京都府、和歌山県)

(4) 但馬の移住ガイドブック「たじま暮らし」作成

- ① 発行部数 3, 000 部
- ② 配布先 各相談会、各県民局、カムバックひょうご東京センター、ふるさと回帰支援センター (東京・大阪)、件アンテナショップ等

(5) コンシェルジュ活動支援事業

但馬地域の交流人口の拡大、IJU ターン等の移住を促進するため、移住支援活動を行う事業者に助成を行う。

助成金申請件数 2 件
移住体験ツアー (香美町)、空家改修ワークショップ (新温泉町)

3. 地域情報発信事業

各種広報媒体を多角的に活用し、観光・自然・イベント・ニュースなど但馬に関するあらゆる情報をタイムリーかつわかりやすく提供した。

(1) 地域情報発信事業

- ① 但馬ツーリズムマップ(英語版)の制作

但馬を訪れた外国人観光客に但馬の多彩な魅力を発信し、周遊に役立つマップを作成した。

- ・ 部 数 5, 000 部
- ・ 配布先 JR の各駅、道の駅、宿泊施設、観光施設など

② 英語版まち歩きガイドの制作

但馬を訪れた外国人観光客が、訪問先で使うことのできる「まち歩きガイド」を27年度に引き続き作成する。28年度は下記の5エリアを紹介する。

- ・部数 各地域3,000部
- ・サイズ等 A4両面
- ・内容 主要JR駅周辺の散策マップ、二次アクセスの紹介(豊岡・出石・八鹿・竹田、生野エリアを紹介予定)
- ・配布先 主要なJR駅、宿泊施設、観光協会など

(2) ホームページ「但馬情報特急」の運営・充実

但馬に関する最新の情報、魅力ある情報を、多分野にわたり収集し提供した。

- ・アクセス数 (H28.12末現在)
 - ユニークアクセスPV数 931,937件(982,761件) 前年同期比 94.8%
 - ユニークアクセス訪問者数 396,503件(377,718件) 前年同期比 105.0%

(3) 但馬ふるさと特派員グループ等による情報発信

現在、ボランティアグループ「gr但馬ふるさとnet」(会員数14名)の協力を得て、ホームページ「但馬情報特急」を通じて、但馬の地域資源、イベント、生活情報などの四季折々の最新情報を発信した。

(4) 情報誌「T2」発行

但馬の魅力を様々な切り口で紹介するとともに、但馬地域内の観光・イベント等の各種情報を発信するため、情報誌を発行した。また28年9月のvol100号発行に際して特集ページを制作した。

- ①発行時期 年4回(6月、9月・100号、12月、3月)
- ②発行部数 各9万部
- ③仕様 A4判カラー印刷(20ページ)
- ④配布先 但馬内7万部、但馬外2万部配布
 - ※但馬全戸、但馬ファンクラブ会員、同協賛施設、近隣官公庁、金融機関、旅行社、報道機関など
- ⑤プレゼント企画 誌面上で但馬検定ミニクイズを実施。年4回、各50名・100号記念100名に但馬の特産品(主にスイーツ)をプレゼント。
 - ※28年度3回実施、応募総数912名

(5) ラジオ番組提供

阪神間へ但馬の最新の地域情報を提供するため、ラジオ番組の放送により情報発信を行った。

- ①提供番組 ラジオ関西「おもしろ但馬木曜日」
- ②放送日時 月2回〔第2、第4木曜日 午前9時40分～45分(5分間)〕
- ③プレゼント企画 毎月1回抽選で但馬の特産品をプレゼントを実施。
28年12月現在、78名にプレゼントした。

(6) その他の地域情報発信事業

- ①但馬まるごと感動市へのブース出展
 - ・日時 平成28年11月12日(土)～13日(日)
 - ・内容 パネル展示、ミニクイズ、観光パンフレットの配布

- ② 神戸ルミナリエ観光ブースの活用
 - ・日 時 平成 28 年 12 月 7 日（水）
 - ・場 所 神戸東遊園地内
 - ・内 容 観光パンフレットの配布、但馬の認知度アンケート

4. 首都圏PR推進事業

「誘客」に対する取組みをテーマに、首都圏での大規模観光イベントへの参加や、メルマガジンの配信など効果的な情報発信を行った。

(1) ツーリズム EXPO ジャパン 2016 への参加

- ① 日 程 平成 28 年 9 月 22 日（木）～9 月 25 日（日）
- ② 場 所 東京ビッグサイト
- ③ 内 容 ブース出展：観光 PR、特産品（但馬牛・地酒・朝倉山椒等）PR、
但馬牛試食、日本酒試飲、但馬の認知度アンケート、クイズラリー
等実施。
インバウンド商談会：商談件数 養父市・朝来市 80 件
旅行商品の開発など個別協議につながる
- ④ 来場者 一般・観光関係団体・観光事業者等 185,844 人

(2) 情報発信

メルマガ会員（1,674 人）へ月 2 回ペースでのメルマガなど首都圏へ向けた情報発信を行った。

5. 但馬ファンクラブ事業

但馬の魅力を PR し、地域内外の住民の交流促進、地域活性化及び観光振興を図るため、但馬ファンクラブを運営するとともにイベント会場などで会員を募集した。

また、若者たちが但馬の魅力を知り、但馬に興味、愛着を持ってもらうよう、新成人のうち希望者に 1 年会員権をプレゼントするなど、若い世代に対しても PR した。

(1) 加入状況

区分	但馬内	但 馬 外				合計	1 年会員	3 年会員
		県内： 但馬除	近畿内： 兵庫県除	近畿外	小計			
H28.3 末	836	573	258	182	1,013	1,849	899	950
H29.2 末	912	762	316	222	1,300	2,212	1,187	1,025
増減	76	189	58	40	287	363	288	75

(2) 会員に対する特典の付与

- ① 施設利用（12 月末 234 施設）の割引等が受けられる会員パスポートの発行
- ② 但馬の情報誌等（T2、パンフレット）の送付
- ③ 但馬の特産品プレゼント
年 4 回、各 40～50 名に特産品が当たるプレゼント企画を実施した。
※28 年度 3 回実施、応募総数 895 名
- ④ 但馬のミュージアム招待券配付
但馬内の 8 つの美術館等で無料入館できる招待券を提供した。
 - ・実施期間 平成 28 年 6 月 13 日（月）～12 月 24 日（土）
 - ・対象施設 植村直己冒険館 ほか 7 施設
 - ・来場者数 191 人

(3) 入会 PR 事業

新聞紙上、各種事業とのコラボレーションにより会員獲得に努めた。

- ① 日本海新聞紙上でのプレゼント企画
平成 28 年 8 月 4 日、12 月 4 日掲載 新規加入 20 名
- ② 各種事業との連携によるプレゼント企画
 - ・但馬検定事業との連携 1, 2 級合格者への特典 新規加入 42 名
 - ・周遊バス「たじまわる」乗客の応募の中から抽選 新規加入 10 名
 - ・播但道路利用キャンペーンとの連携 応募者の中から抽選 新規加入 100 名
- ③ その他イベントでの勧誘活動等
 - ・但馬まるごと感動市(H28. 11. 12~13)
 - ・神戸ルミナリエ アンケートプレゼント(H28. 12. 7)
 - ・各市町の新成人に加入チラシを配布 (H29. 1. 9)

Ⅲ 自然と調和した新しい但馬づくりのための自然環境保全活動に関する事業

自然環境保全運動等のための地域住民運動を盛り上げ、但馬の美しい自然環境を積極的に守るため、次の事業を行った。

1. 魅力ある但馬の森・川・海・里環境保全事業

(1) 美しい但馬づくり支援事業

自然環境を保護するための清掃活動、緑化、地球温暖化防止、野生生物の生息環境確保及び環境学習等に取り組んでいる団体に対して、その活動に要する経費の一部を助成した。

- ・ 助成状況 [清掃活動] 2 団体 21,150 円
- [環境保全・創造活動] 3 団体 70,000 円

(2) クリーン但馬支援事業

クリーン但馬 10 万人大作戦の活動に要する経費の一部を助成した。

- ・ 助成団体 クリーン但馬 10 万人大作戦推進協議会
- ・ 助成金額 1 0 0 千円

(3) サケ回帰促進支援事業

河川・水質環境保全運動の普及啓発を目的に、地域の子どもたちにサケの発眼卵を提供し、放流を通して育成学習を行うサケ回帰促進事業に要する経費の一部を助成した。

- ・ 助成団体 岸田川漁業協同組合
- ・ 助成金額 1 5 0 千円

2. その他但馬ふるさとづくり事業

(1) 自然環境学習事業

ホームページ但馬情報特急内の子どもが自然環境学習できるコーナー「たじまのしぜん」を NPO コウノトリ市民研究所に運営委託した。

- ・ 投稿回数 毎月 4 件以上
- ・ 委託料 1 2 0 千円 (1 0 千円/月)

IV 新しい但馬づくりのための調査研究に関する事業

但馬地域における様々な課題の解決策や将来を展望するための施策・方向性を提起するための調査研究事業を行い、新しい但馬づくりに資するため次の事業を行った。

1. 但馬の魅力調査研究事業

(1) 調査研究支援助成金交付事業

但馬地域の産業発展、観光振興、防災、環境保全、自然保護、まちづくり等、様々な課題に対する調査研究事業、シンポジウムの開催などに対して支援を行う。

- ・ 助成団体 大蔵地域自治協議会
- ・ 助成金額 1 団体 200 千円 (予定)

V 会議の開催

公益財団法人但馬ふるさとづくり協会定款の規定により、理事会及び評議員会を開催した。

1. 理事会

(1) 第49回理事会

- ・ 期 日 等 平成28年5月19日 (木)
 じばさんTAJIMA

(2) 第50回理事会

- ・ 期 日 等 平成28年8月4日 (木)
 定款第30条第2項の規定に基づく決議省略による決議

(3) 第51回理事会

- ・ 期 日 等 平成29年2月8日 (水)
 じばさんTAJIMA

2. 評議員会

(1) 第13回評議員会

- ・ 期 日 等 平成28年6月15日 (水)
 じばさんTAJIMA

(2) 第14回評議員会

- ・ 期 日 等 平成29年3月9日 (木)
 じばさんTAJIMA